ができました。コロナ関連の第 と未来」と題して開催すること 型コロナウイルス感染症の現状 Webとのハイブリッドで、「新 日の学友会シンポジウムでは、 次ぎました。そんな中、10月22

人者の先生方にご登壇いただ

最新の知見を勉強すること

が格別であることを知っていた

令和4年1月1日

年頭あいさつ

雪とけて村いっぱいのこどもかな

理事長 吉川

た、各地の支部会も中止が相 年続けて中止となりました。ま 学金授与式などの関連行事が2 交流会、特別講演、 月29日の総会では、 睦が大幅に制限されました。 5 学友会会員の皆様との交流、親 日本中がコロナ禍に見舞われ、 ざいます。昨年も残念ながら、 新年明けましておめでとうご 助成金・奨 級会・支部

茶の名句です。長い冬が終わり

開催に向けてご尽力して頂きま ができました。コロナ禍の中、 に感謝いたします。 した関連の諸先生および事務局 さて、表題の俳句は、

歳の長女を失っております。苦 時蔓延していた天然痘により1 痘を普及させる約30年前、 くあります。一茶は、洪庵が種 など弱者を題材にした作品が多 です。この句以外にも、 る子供たちの情景を読んだもの を告げ、春を迎えて村を走り回 子供や小動物(雀、 い辛い出来事があったからこ それを乗り越えた時の喜び 蠅 蛙など 一茶は、 当り、阪大医学部が、コロナ禍

コロナ感染症が終息し、大人も はないでしょうか。今年こそ える時間を十分確保できたので 切なものを見つける絶好の機会 面があります。不要不急の雑事 われるコロナ禍にも必ずプラス のだと思います。 じています。令和4年の年頭に で活動できる時が必ず来ると信 子供も外に出て、元気に笑顔 しいか、何が重要であるかを考 であるかもしれません。何が正 では、気づくことができない大 や虚礼に追われている現代社会 一見災難と思

第261号 公益社団法人 医学振興 銀杏会

(編集同人)

荻原俊男 米田正太郎 杉本 央上田啓次 冨田尚裕 朝野和典森井英一 木村 正 日比野浩 馬場幸子

千曲川沿いの菜の花公園、信州飯山市。「菜の花畠に入り日薄れ…」、「兎追いしかの山、小鮒 釣りしかの川…」 高野辰之はこの辺りをモデルに作詞した。 荻原俊男(昭43)

次期代議員選挙につ 41 て、 同封別紙をご覧ください

持って、王道を歩み、益々発展

して行くことを期待しています。

の中で培った知恵や豊かな心を

3330

年度は市民向けの講演だった 賢志先生(平16・山口大医)、 日比野浩先生 (平6)、忽那 誠司先生(平11・九州大医)、 就任された教授紹介があっ ため、この2年間に医学部に 宮川繁先生(平6)、妻木節 島津研三先生 (平6)、岡田 原徹郎副病院長(昭59)が阪 究科長(平3)が挨拶し、竹 理事長(昭4)が開会の辞を た。保仙直毅先生 (平6) **大病院の現状を報告した。昨** 続いて、熊ノ郷淳医学系研 定刻に開会。金倉譲副理事 (昭4)の司会で吉川秀樹

Webによる配信も同時に 三和ホールにて開催された。 月22日 (金) 銀杏会館の阪急 会主催のシンポジウムは、10 令和3年度の医学振興銀杏

5) による新任教授の挨拶が 6·明大農)、織田順先生

生(平5・北里大医、

健康医療部保健医療室

重症患者の救命という入院中 期待されている。これまでの 経口の抗ウイルス薬の登場が

心の医療体制から、

外来での

基調講演のあと、忽那賢志先 ネーターとしてシンポジウム ルス感染症の現状と未来」を を開催した。朝野和典先生の 長崎大医、大阪健康安全基盤 授)と朝野和典先生(昭59・ テーマに、楽木宏実副理事長 (昭59、老年・総合内科学 今回は、「新型コロナウイ (平16・山口大医、感染制 理事長)をコーディ あった。

は、下記の通りである。

行先生(平元)、林克彦先生(平

講演

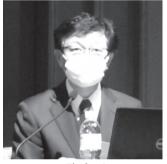


講演 内山昭則先生



講演 熊ノ郷淳先生





基調講演・コーディネーター 朝野和典先生

コーディネーター 楽木宏実先生



講演 忽那賢志先生

がり1年10か月を経過した。 新型コロナウイルス(SARS 事)、内山昭則先生(昭3) 熊ノ郷淳先生(平3、呼吸器 朝野先生の基調講演要旨 CoV - 2) が世界に広 教授)、浅田留美子先 教授)の講演が 准教授)、 これからさらに複数の新しい の波と4回の緊急事態宣言を その間、日本では5回の流行 る。また、ワクチンが広まり 解析による監視が重要とな 期に探知するために全ゲノム 予想され、次の流行の波を早 第6波も感染力を強めた新た ら流行の波を形作ってきた。 子型のウイルスが交代しなが に、これまで主流となる遺伝 インド由来のδ株などのよう 経験した。英国由来のα株や な変異株が主流となることが

> する。行政と基幹病院、およ 早期治療に医療対策がシフト 軽症・中等症患者の早期診断、

びプライマリケアの医療機関

免疫内科学

る「学友会会誌」に掲載して 済みの方に本号と同封してい 詳細は、本年度会費を納入 用が期待される。

策としても抗ウイルス薬の活

医療機関における感染対

築することが求められる。ま 継続して提供できる体制を構 が協力して地域ごとの医療を

いるのでご高覧下さい。 早石雅宥

瑞宝双光章

令和3年度 秋の叙動と受賞

(発表日順)

文化功労者 中村祐輔(昭52) 藍綬褒章

志水洋二(昭29)

瑞宝小綬章 藤本高義(昭46)

太田三徳(昭57)

クラリベイト引用栄誉賞 岸本忠三(昭39) 日本医師会優功賞 塩田正明(昭46) クラリベイト引用栄誉賞 平野俊夫(昭47)

日本医師会優功賞 片山一郎(昭52・北大医)

日本医師会医学賞 小室一成(昭57·東大医)

附 御

令和3年6月19日から12月7日までに、2.650,000円のご寄附を頂き、誠に有難うございました。公益社団法人へ の移行に伴い、平成23年4月1日より当会へのご寄附は個人・法人とも税金控除の対象となっております。 また、令和3年7月14日より当会は、寄附金に対してより有利な控除である税額控除制度が選択できる団体とし て認定されました。詳細に関しては、事務局までお問い合わせください。

大月博視先生(阪大医 昭28)より、100,000円をご寄附頂きました 及川 弘先生(東北大 昭30)より、30,000円をご寄附頂きました 塚本 宏先生(阪大医 昭32)より、10,000円をご寄附頂きました 昭39)より、20,000円をご寄附頂きました 萬谷雅宣先生(阪大医 昭40)より、50,000円をご寄附頂きました 松山辰男先生(阪大医 岡空達夫先生(阪大医 昭48)より、100,000円をご寄附頂きました 富士武史先生(阪大医 昭51)より、30,000円をご寄附頂きました 岩崎 勲先生(阪大医 昭52)より、50,000円をご寄附頂きました 三輪芳弘先生(神学大薬 昭52)より、100,000円をご寄附頂きました 黒田秀也先生(阪大医 昭54)より、100,000円をご寄附頂きました 吉川秀樹先生(阪大医 昭54)より、100,000円をご寄附頂きました 赤木幹弘先生(琉球大医 昭62)より、50,000円をご寄附頂きました 嶋谷 薫先生(阪大医 昭62)より、50,000円をご寄附頂きました 乾 一郎先生(阪大医 昭63)より、10,000円をご寄附頂きました 平13)より、30,000円をご寄附頂きました

乾 之治先生(阪大医 昭30)より、金一封をご寄附頂きました 森本靖彦先生(阪大医 昭36)より、金一封をご寄附頂きました 清野佳紀先生(阪大医 昭40)より、金一封をご寄附頂きました 島田政則先生(阪大医 昭46)より、金一封をご寄附頂きました 昭47)より、金一封をご寄附頂きました 小浜譲次先生(阪大医 後藤 顕先生(阪大医 昭50)より、金一封をご寄附頂きました 西澤恭子先生(阪大医 昭50)より、金一封をご寄附頂きました 茂田廣守先生(阪大医 昭51)より、金一封をご寄附頂きました 山本茂生先生(阪大医 昭57)より、金一封をご寄附頂きました 楽木宏実先生(阪大医 昭59)より、金一封をご寄附頂きました 山本浩文先生(阪大医 昭63)より、金一封をご寄附頂きました

匿名の会員様より1.000.000円1件、50.000円3件、30.000円3件、7名の会員様より、金一封をご寄附頂きました。

デオでの聴講となりましルにて開催、適塾紹介ビ銀杏会館・阪急三和ホー たが感: 出に伴 拡大・緊急事態宣言の? をと準備を進めておりま 本年こそは現地開催 地開 い延 束に至らず、 旦. は 10 発

阪大学と移りをファー学校・大阪帝国大学・大阪帝国大学・大阪医 て再興し、その大福寺に大坂に 馬場幸子先生(平 くの た適 た。1838年に始まっ医学史講義がありまし 緒方洪庵先生はじめ、大学と移り変わる中 次に学友会理事であ 偉大な先輩方の教 塾 が、 1869年に 仮病院とし 16)から

感謝申し上げます。

ました皆様に改めて

ります。

ご協力いただき

学直後の4月に医学部 の方々のご協力で、入 L てきました。)の見学会とし かし 各学年の在校生有 令 19 和 2 して行 年

ることができず、9月に伴い、例年通りに開催す

に町

なまれ

たことと思

けになるものと信じてお がます。歴史探訪は、後 がます。歴史探訪は、後 を育むきっか で着や誇りを育むきっか であっていただければと思

いませ

の表情は見ることは

Ŏ V I

D

1

の拡大に

直接の表見 の心構えを説いたも医戒之略」は医師とし た今の阪大医学部への発中で除痘館から端を発し なく「病んでいる人のた 展がありました。「 自 日分のため」ではほえを説いたもの ^{映講の学生の方の} の教えは現代にも 「扶氏

る人生での

労があっ、 一ません。しかし、 一

)期と重なっ

の 2

年

できない壁はないとだったと思います。

りこれからの大きな期間います。克服はないと、皆

医学部を築き上げ、将来、

体となりこれから

た。緒方洪庵先生はコレの歴史の紹介がありまし洪庵先生のご紹介や適塾 放映されました。大阪授からの適塾紹介動画教授(昭61)・森井英一 洪庵先生 ラや天然痘といった感染 学の校祖であられる緒方放映されました。大阪大 症対策に従事され、その のご説 り知れません。しかし聴講の皆さんの苦労は こそ記録にも記憶にも そんな苦労があったから う大変な時 が、受験生と新入生と ことのないこ

験型

室の医学部屋

歷史探訪

行ってきました。こ

会員の皆様

寄附や医学系研究科(教

(室他)、

適塾記念セン

れを次の世界の新入生の記 思います。 誰もこれ りました。 まで経 れて いると

ことで母校に対する誇り

利入生に阪-

指し、平成29年より窓の仲間意識の向り

ぐ決意を持たれたことと 世代へと引き継の皆さんも、そ 车

医学部長通信 第19回 熊ノ郷淳(平3)

バイオインフォマティクスプラットホーム構想について

最近、データサイエンス、ビッグデータ等のキーワードをよく耳にされるかと思います。患者さんの臨床所見、血液所見、 画像所見に加えて、患者さん自身のゲノム情報(がんの遺伝子変異も含めて)、血清、血漿の種々のバイオマーカーなど、 一人の患者さんに紐づけられたデータも、従来に比べると飛躍的に増大しています。また、次世代シークエンサーが普及 したことに伴い、シングルセル解析を中心にした多彩なオミクス解析技術が開発されており、これらの技術を活用するた めには、バイオインフォマティクスなどドライのデータ解析が鍵となっています。論文のデータを眺めても、ここ数年で 一気にデータの図が様変わりされていることに、同窓会員の先生方もお気づきになっておられるかと思います。1980 年代に登場した分子生物学的手法、1990年代の遺伝子欠損マウス作成技術に代表されるように、医学、生命科学の 領域は10年ごとに革新的な技術革命があり、その時代、その時代、それらの手法をうまく取り入れることが重要です。そ れに失敗した組織は衰退の一途をたどります。

このような背景のもと、現在、医学系研究科と免疫学フロンティア研究センター、微生物病研究所が連携し、歯学部、 薬学部、生命機能研究科や関連の学内研究所に呼びかける形で部局横断の「バイオインフォマティクスプラットフォーム 構想」が立ち上がっています。特に発展の著しいシングルセル解析技術を中心に最新のデータ解析技術を習得し、また、 新規開発できるような人材のリクルートと、部局としてのデータ解析基盤の強化を目指しております。最先端の研究状況 をアップデートすると共に、医学系研究科はもとより、阪大の生命系全体としてどのようにデータサイエンスを取り入れ ていくかの正念場と考えております。また、この話題も適宜先生方にご紹介できたらと考えております。

阪大病院に「腸管不全治療センター」を開設 栄養管理から小腸移植まで

栄養からの離脱を目指します

では、腸管不全の希

下げることです。もちろん静脈 活用して、静脈栄養依存度を ら、残存腸管機能を最大限に

期静脈栄養管理を行いなが

腸管不全治療の目的は、長

症などが原疾患となります。 人ではクローン病や腸間膜血栓 中腸軸捻転や壊死性腸炎、成 なった短腸症候群で、小児では

腸移植の適応を考慮すること が、残存腸管が極端に短い症例 は、長期の中心静脈カテーテル 践されてきました。具体的に 種連携によるチーム医療が実 は2000年代初頭より多職 予後改善を目指して、欧米で りません。こうした腸管不全の 脈の閉塞、カテーテル関連敗血 脈栄養」が結構大変で、中心静 も必要です。ただこの「長期静 では離脱は不可能ですので、小 管理・経腸栄養の促進・栄養ア 症するため、患者さんのQOL た重篤な合併症を高頻度に発 症、腸管不全関連肝障害といっ 低く、生命予後もよくはあ

けていただけること ション」を安心して受 の現状を踏まえ、腸 らず、欧米のような の疾患概念自体が 4月阪大病院に「 を目的として、昨 管不全の患者さんが、 てきませんでした。 診療体制は整備され 十分には浸透してお 少性もあって、未だそ 腸管リハビリテー このような本邦で 不全治療 セ 腸 车

ター」が開設され

ションが腸管不全の予後を改善 ションプログラムを提供する拠 者を集約して腸管リハビリテー す。腸管不全に対するこのよう ポートし、最重症例に対しては 携した在宅医療への移行をサ れます。慢性期には、地域と連 なりつつあります。しかし本邦 れ、すでに世界では標準治療と するというエビデンスも集積さ た。近年では、腸管リハビリテー 点施設の整備が進んできまし 称され、主に欧米を中心に、患 な段階的・集学的な一連の治療は 小腸移植の適応も検討しま 長術などの外科的療法が含ま などによる薬物療法、腸管延 抑制剤・制酸剤・消化管ホルモン 「腸管リハビリテーション」と総

です。主な病態は小腸が短く

に比べれば比較的新しい概念

となったため、心不全や腎不全

1980年代以降に治療対象

が技術的に可能になった 態のことです。長期の静脈栄養

され、静脈栄養に依存した状

大的あるいは後天的に障害 栄養や水分の吸収が、先 腸管不全は、

・腸からの

セスメントに加えて、

、腸管蠕

腸管不全治療センターホ



小児成育外科学 奥山宏臣(昭59

看護師、 発展させたいと考えています。 受けられる、そんな体制作りに ター」を設置し、全国の腸管不 地域ごとに「腸管不全治療セン るようになりました。今後は、 規患者さんをご紹介いただけ を管理し、毎月5-10名の新 40-50名の腸管不全患者さん れて1年半が経ちますが、現在 れています。センターが開設さ らのコンサルテーションも受け入 を提供するとともに、他施設か などの多職種が連携して医療 全患者さんが安心して医療を ソーシャルワーカー、理学療法士 した。このセンターでは、医 薬剤師、管理栄養士

ててててててててて

病研究センター (国循)理事長 環器科教授を辞し国立循環器 グス・カレッジ・ロンドン循

に就任した。阪大出身者の歴

曲直

締まる思いである。

国循は循

北村惣一郎先生といった雲の 部寿夫先生、川島康生先生 代総長は吉田常雄先生、

医師、

|の先生方ばかりで身が引き



者」がメディアでコロナを語 が出たため、多くの「素人識 行・外食など国民生活に影響 死亡者数などが報じられ、旅 連日新規感染者数、重症者数、 数は大変落ち着いています。 SARS-CoV2感染者 原稿執筆時点で大阪の新規 襲ったコロナ禍ですが、この 令和2年初頭から

日本中を 政策・政権の行方にまで

> *物品管理: 当初深刻なマス は何を学んだでしょう?

か月分位の在庫をもつ事も必

ずうまくやった方ではないで があふれるという状況に至ら い水準で、病院の廊下に患者 中では、ロックダウンもせず これがない」ですが、世界の では相変わらず「あれがない、 影響を与えました。メディア しょうか。 に感染者・死亡者数ともに低 さて、このコロナ禍で我々 ました)、全学から実験用ア 被って診療していると言われ 耗品に限り医療機関は2~3 消毒薬作成などを行いまし ルコールの供出を受けて手指 ン作成(阪大ではごみ袋を た。工場の物流と異なり、消

クなど消耗品の不足が起こり てPCRは有効でした。ただ、 規病原体に対する検査法とし おばさんは消えましたが、新 *感染症検査の充実:PCR 要と思います。

> 問われます。 ない検査陽性の扱い、などに の病原体にどう応用するかが その解釈は難しく、感染力の

器の検査室への普及が進みま 混乱がありました。PCR機 したが、今後どう使うか、他

ロナ禍で得た教訓

学事務職員の協力によるガウ 確認してのマスク配給制、 を図っていたので、在庫数を ました。阪大病院では在庫減

最も手洗いしない職種は医師 とんどのようです。病院で、 外でも常時つけている人がほ *ユニバーサルプレコーショ 常識化しました。マスクは屋 ンの徹底:手洗い・マスクが

手洗い習慣が継続できるかが 来指摘されていますが、今の とゼンメルワイスの産褥熱以

者両方を担当する、という事 大学がICU管理と中等症患 見ていただき、東京のように た。中等症を市中病院で多数 ナ病棟化は大英断でありまし 岐病院長のICU30床コロ では第4波が最悪であり、 *病院間連携の重要性:大阪 役立ったかもしれません。 ンアレルギーの解消に少しは が大量に流れたのは、ワクチ ビでぶすぶす針を刺すシーン *筋注ワクチンの普及:テレ

おかげでした。 院の先生方の絶大なご尽力の 態に陥らなかったのは関連病

知恵が試されています。 我々が医療をどう変えるか 方を考えねばなりません。 質を担保した遠隔診療のあり 巣窟、ということが明らかに て、これらの教訓をもとに なり通院が忌諱されました。 *外来の縮小:病院は病人の アフターコロナ時代に向け

正 (昭 60

…その 162

うのはもちろん世界中の若い では最先端の診療や研究を行 休息が必要な程である。国循 さと同じ位で歩き回った後は 世界標準の設備を持つ。建物 が一つの屋根の下に集まった プンイノベーションセンター 新国循は病院、研究所、オー 藤白台から岸部に移転した。 究機関であり、2019年に に設立された高度専門医療研 環器疾患の究明と制圧のため 長さはあべのハルカスの高

私は2021年4月にキン

疾患である。近年、元気で活 約10年の差がある。その期 るが健康寿命と生命寿命には 躍できる健康寿命が重視され 循環器疾患は死因の第二 高齢者に限ると第一位の

な予防を行い、健康寿命を伸 筋梗塞などの突発的な発症や 在し、長い経過をとる。適切 急性増悪と、幅広い年代に存 に進行する慢性期、繰り返す 重症化、合併症の発症、徐々

国循に赴任して

存分挑戦できる環境を作りた 研究者に夢を与え思う 患は、不適切な生活習慣、 循環器疾患である。 を必要とする疾患の第一位は きていくことになるが、介護 間は何らかの助けを借りて生 店習慣病の発症、 脳卒中、 循環器疾

標達成のためには予防・国民 年12月に施行された。その目 器病対策基本法」が2019 負担を軽減するために「循環 急性期から慢性期に

ばすことにより医療や介護の ニターにより、検査データが 民に配布するウェアラブルモ いる。大規模マンションの住 クラスターの形成を目指して 療都市(健都)と呼ばれ、医療 あり、一帯は、北大阪健康医 イノベーションパークなどが

健康・栄養研究所が建築中の る。国循周辺には、市立吹田 を果たすことが期待されてい であり、国循は中心的な役割 基礎・臨床研究の推進が必要 至るシームレスな医療体制の 高齢者向け住宅、企業や国立 市民病院、大規模マンション、 人材育成、登録事業や 理事長 国循に転送され生活指導を受 国立循環器病研究センター の国を挙げてのプロジェクト 療のモデル地区にしたい。こ ら治療・研究まで行いうる医 けるなど、健都全体で予防か 51)にお願いしています。 ター総長の松浦成昭先生 に今まで経験したことを生か し挑戦して行きたいと思う。 次回は大阪国際がんセン

昭

大津欣也(昭

器の障害(変形性膝関節症

ろまで来ています。

髄疾患治療の研究が実臨床 医療やAIを用いた脊椎脊 トによる新規末梢神経再生

の応用にあと少しのとこ

となる要因のうち、最多

(23%)を占めるものが運動

簡易生命表」等)。具体的 す(厚生労働省「平成25年

には要介護・要支援が必要

紹

附講座、スポーツ医学講座、 究・教育・診療を行って 同研究講座の7講座で研 究講座、運動器再生医学共 動器スポーツ医科学共同研 ニクス学共同研究講座、運 運動器スポーツバイオメカ 制御外科学講座、 した。現在整形外科は器官 教授として私が就任致しま 2021年1月より第七代 イオマテリアル学寄附講 1945年に開設され、 大阪大学整形外科は 運動器医工学治療学寄 運動器バ

があると報告されていま 寿命の間に約10年の隔たり においては平均寿命と健康 近年超高齢化が進む本邦

> 岐に渡っています。 学や再生医療など非常に多 術療法に留まらず、予防医 が担うべき役割は従来の手 す。その中で我々整形外科 喫緊の課題となっていま 護や医療費負担の面からも ら自活して過ごすかが、介 運動器の健康を維持しなが 礎調査)。つまり、 年度厚生労働省国民生活基 となっています(2017 管狭窄症が約580万人 症が約1280万人・脊柱 が約2530万人・骨粗鬆 いかに

併用した低侵襲脊椎固定術 る脊髄モニタリング装置を では高度の脊柱変形に対す 診療を行っています。脊椎 児整形の9つのグループで チ(足の外科)・膝関節・小 関節・腫瘍・関節リウマ 外科・スポーツ整形・肩 当科の臨床の専門分野 頸椎の人工椎間板置換 脊椎・股関節・手の

術等の手術を行っていま ターナビゲーションシステ 股関節ではコンピュー

する自家培養軟骨細胞移植 常の膝関節の靭帯や半月板 ます。スポーツ医学では通 は骨折後の変形治癒例に対 行っています。手の外科で 節鏡を用いた低侵襲手術も ボット支援システムや股関 置を行っています。またロ 確な骨切りや人工関節の設 マッチングさせることで正 と術中にリアルタイムで るシュミレーションデータ 適応基準あり)も行ってい や他家滑膜由来組織移植 建術に加え、軟骨損傷に対 損傷に対する関節鏡視下再 オーダーメイドの骨切りガ 矯正角度を正確に算出し、 して健側のCT画像から ムを用いて、CT画像によ し治療の最適化を行ってい イドやインプラントを作成 (いずれも臨床研究段階で

骨や椎間板の再生医療や、

ゲンを用いた半月板再生医 生体由来組織アテロコラー

神経栄養因子徐放シー

節を温存する骨切り術や ターナビゲーション下に関 の病期に応じてコンピュー ます。また変形性膝関節症 人工関節置換術(単顆型・

チ以外にも外反母趾や扁平 術などを、 家培養軟骨細胞を用いた軟 滑膜由来間葉系幹細胞、自 換術などを行っています。 節形成術や、人工足関節置 対する矯正骨切りによる関 腫瘍型人工関節による再建 療法と患肢温存を目指した 骨腫瘍に対する周術期化学 しています。腫瘍では悪性 型人工肩関節置換術を実施 能を再獲得できるリバース 断裂症例でも肩関節挙上機 再建術に加え、腱板広範囲 性脱臼に対する関節鏡視下 肩関節では腱板損傷や反復 全置換型)を行っています。 (足の外科)では関節リウマ 研究では、iPS細胞や 変形性足関節症などに 関節リウマチ

の運動器疾患を克服する新 した医療の提供と、未解明 しながら、より高度で安定 イノベーション機構と連携 病院や、大阪大学オープン スピタルである医学部附属 臨床研究中核病院・AIホ

もご指導ご鞭撻を賜ります て参ります。学友会の先生 方におかれましては今後と たな治療法の創出に尽力し

よう、何卒宜しくお願い申 し上げます。 岡田誠司 (平11・九州大医